

# ウィズ・レター No.75

落ち葉が風に舞う季節になりました。  
体も心もポカポカにして、冬を迎える準備をはじめましょう。



## 産休・育休後職場復帰応援講座

# 再立への不安を解消したい!! ママひろば

産休や育休からの職場復帰には、誰もがいろいろな不安や悩みを抱えています。同じ立場のママと悩みを共有したり、先輩ママの体験談を聞いて、復帰後の生活をイメージしてみましょ。どうぞお気軽にご参加ください。

日時：Step.1 12月5日（金）午前10時～11時30分

Step.2 12月12日（金）午前10時～11時30分

場所：交流ひろば 研修室（中町3丁目）

対象：産休・育休中の女性

定員：10人

参加費：無料

託児：有（1人500円）

※託児会場は「にこっと広場」になります。利用される方は、11月27日（木）までお申し込みください。

いっしょに話そう!



### Step.1



- ①はじめまして（自己紹介）
- ②不安や悩みはなあに!?
- ③ワーク・ライフ・バランス  
（講師：堀晃子さん）

### Step.2



- ①先輩パパ・ママ体験談
- ②家族とのかかわり
- ③子育て情報

講座の申込み、問合せ：酒田市男女共同参画推進センター「ウィズ」

電話 0234-26-5616 E-mail: with@city.sakata.lg.jp



# 女性に対する暴力をなくす運動

## 11月12日(水)～11月25日(火)

夫・パートナーからの暴力、ストーカー行為、セクシュアル・ハラスメント、性犯罪、売買春等の女性に対する暴力は、女性の人権を著しく侵害するものであり、男女共同参画社会を形成していく上で克服すべき重要な課題です。国では、**毎年11月12日～25日**までを「女性に対する暴力をなくす運動」期間とし、全国各地で様々な取り組みが行われています。この機会に女性に対する暴力について考え、暴力のない社会づくりを進めましょう

### DV(ドメスティック・バイオレンス)

配偶者や恋人など親密な関係の人から受ける暴力のことです。平成23年調査では、女性の**約3人に1人**が配偶者から1度でも暴力を受けたことがあり、**約10人に1人**がたび重なる暴力に悩んでいます。

### ストーカー行為

恋愛や好意の感情が満たされなかったうらみ等から、特定の人に繰り返してつきまとう等の行為。被害者の約90%が女性で、行為者の約87%が男性となっています。

### セクハラ(セクシュアル・ハラスメント)

学校や職場のなかで、身体を触る、性的会話など。平成25年度、都道府県労働局雇用均等室によせられたセクハラ相談件数9230件のうち、5700件(約60%)が女性労働者からの相談となっています。



女性に対する暴力根絶のためのシンボルマーク

## どんなことが女性に対する暴力なの？

### 性犯罪

異性から無理やりに性交されたことがある女性は、年々増加傾向にあり、被害を受けた年代は10歳代・20歳代が多く見受けられます。

強制わいせつ件数 7672件  
強姦件数 1410件(H25年度)

### 売買春・人身取引

暴力や脅迫、誘拐等の強制的な手段により、別の国や場所に移動させ、売春や強制的な労働をさせて搾取すること。児童売買春は増加傾向にあり、出会い系サイトの利用やコミュニティサイトに起因しています。

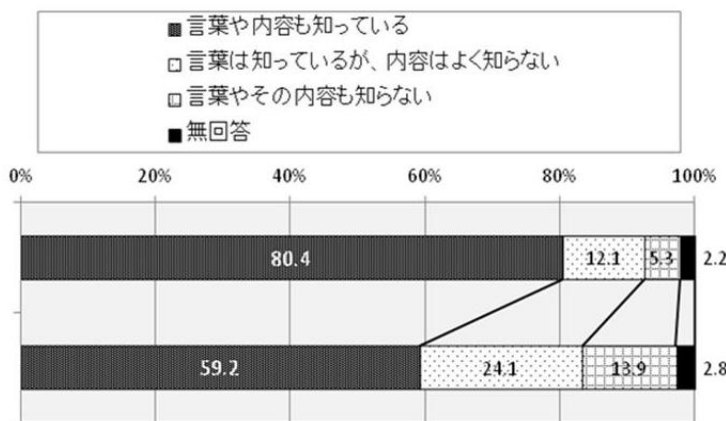
参考資料：平成26年版男女共同参画白書

## DV(ドメスティック・バイオレンス)

女性に対する暴力の中でも、深刻な問題となっているDVには様々な暴力があります。身体的暴行・心理的攻撃・性的強要のほか、経済的、社会的束縛等も含まれます。

昨年本市が実施した男女共同参画に関するアンケート調査において、DVに関する認知度を問うたところ、約8割の方が「言葉や内容も知っている」と回答され、前回調査（平成20年実施）と比較して認知度は約20%増となりました。

問 最近、夫婦や恋人の一方が、他方から身体的・精神的な暴力を受けることが社会問題となっています。あなたは、このDV（ドメスティック・バイオレンス）という言葉や内容を知っていますか。次の中から1つ選んでください。（〇はひとつ）



## パネル展へどうぞ

男女共同参画（DV）に関するパネルを展示します。また、パープル＆オレンジリボンツリーを飾り、女性に対する暴力の根絶と児童虐待防止の広報・啓発活動を行います。お立ち寄りの際は、ぜひツリーにリボンを結んでくださいね。

▼場 所：交流ひろば エントランス

▼期 間：11月13日（木）～26日（水）



昨年度パネル展の様子



**パープル・リボン運動** は、1994年にアメリカの小さな町から始まりました。女性への暴力根絶を目指し、現在40ヶ国以上の国際的な組織に発展しています。

日本では、広報活動の一環として東京タワーのパープルライトアップをはじめ、全国で様々なイベントを開催しています。



**オレンジ・リボン運動** は、2004年幼い兄弟が虐待によって命を落とした事件をきっかけに、栃木県小山市の市民団体が、子どもへの虐待防止を目指して2005年より始まりました。

厚生労働省は、毎年11月を児童虐待防止推進月間とし、全国各地でオレンジリボン啓蒙活動を実施しています。

9月27日(土)開催

## 『もっと知りたい！女(わたし)のカラダin庄内』

女性が健康で明るく充実した毎日を過ごすことができるように、生涯を通じた女性の健康の保持増進を目的とした講座を開催しました。定員を超える多くの申し込みがあり、女性の身体や健康への関心の高さがうかがえました。

第1部では、「女性のカラダとホルモンバランス」について学びました。女性の体は、女性ホルモン環境が影響し、年代（思春期・性成熟期・更年期・老年期）によって病気が変わるとともに、女性ホルモンが直接の原因となる婦人科系の病気（子宮筋腫・子宮内膜症・乳がん・偏頭痛等）と、女性ホルモンがなくなったことが原因で起こりうる病気（更年期障害）の紹介と対処療法を説明されました。講師からは、「いつまでも健康で暮らすために、もっと自身の体に目を向けましょう。」とのアドバイスがありました。第2部「体験！カラダケア」では、“ヨガ体験”と“体にいい食事の取り方”のどちらかを選択。ヨガ体験では、初心者でもきつくならないように、呼吸を整えながら内臓や子宮等の調子を整えるヨガポーズをしました。また食事の取り方では、女性のカラダの変化とともに不足しがちな栄養を普段の食事に取り入れる方法や、生活習慣を見直すヒントを学ぶとともに参加者全員が血管年齢を測定しました。第3部では「自分でできるストレス対処法」として、自分が何にストレスを感じているのか知ることにより、回復する手段を見つけ、自分が自分らしくいられる時間を増やすことが大切であると話されました。



会場では、大豆と女性ホルモンの関わりについてのパネル展示や笛子奏者の演奏もあり、終始和やかな雰囲気でした。

### イベント情報

## 「となりのこどものそだちかた」 地域のおもしろコミュニティ

- ◇日時 11月29日(土) 午後2時～4時
- ◇場所 東北公益文科大学大学院ホール（鶴岡市）
- ◇内容 地域の特色を活かしたコミュニティづくりの事例と「教育現場のいま」から、私たち大人が身近な子どもたちにしてあげられること、子どもたちと地域のいい関係について考える。
- ◇対象 どなたでも
- ◇参加費 無料
- ◇申し込み・問合せ先  
山形県庄内総合支庁子ども家庭支援課  
電話 0235-66-2104



### 酒田市男女共同参画推進センター ウィズ

開館 月～土／9:00～22:00、日・祝／9:00～17:00  
相談 月～金／9:00～16:00

〒998-0044 酒田市中町三丁目4-5 交流ひろば内  
Tel／0234(26)5616 Fax／0234(26)5617  
E-mail／with@city.sakata.lg.jp

